

## 幼児だより 5月号

新年度がスタートして、早くも1か月が経ちました。少しずつ、それぞれのグループが“じぶんの居場所”になってきた新入園のおともだちと、らっこさん。いるかさんはソワソワしていたり、くじらさんは張り切って年下のおともだちのお世話をしたり、ドキドキとワクワクをギュッと詰め込んだ一か月でした。公園の花は綺麗に咲き誇り、虫たちも活発に。こどもたちも汗ばむくらい戸外で活発に遊んでいます。季節や自然を感じながらの日々の生活を楽しんでいけたらと思います。



くじらさん、立ち漕ぎ解禁！



ツツジで色水



両グループ、ダンゴムシ飼育中



山田先生、工藤先生とリズム



浦松リーダーとコスモ



庄下川浴いでお花見



芝生公園に行きました





イースターは、イエス・キリストの復活をお祝いする日です。牧師先生からイースターのお話を聞き、グループで「たまごさがし」をしました。



### くじら「みそづくりプロジェクト」

くじらさん中心で味噌づくりプロジェクトを始動しました。初めての試みで、上手くできるかなと保育士たちが不安な中、くじらさんたちは作りながら「おいしくなあれ」とお祈りし、美味しい味噌が食べられると確信しているようです！「信じないものにならないで、信じるものになりなさい」ヨハネ 20：27 失敗を恐れず、ただ信じる素直な姿に大切なことを教えられました。秋の収穫感謝礼拝の時に、豚汁にして食べられたらいいなと思っています！



## おしらせ と おねがい

- 気温も高くなり汗ばむ日が増えてきています。活動に合わせた服装ができるように半袖Tシャツを着てきてください。ロッカーにも着替えを入れてください。
- 散歩に行く日は水筒の準備をお願いしますので、毎日ホワイトボードの確認をしてください。
- 布団もタオルケットなどに変えていただくようお願いします。
- 5月19日（火）には親子遠足（くじら・いるか）があります。お手紙をよく読んでおいてください。質問等、いつでもお声がけください。
- お迎えに来られた際、園庭や公園で遊んでいる場合は、安全のために先に保育士とお子さんに声をかけてください。その後、一緒に部屋へ行き、帽子をかけてください。リュックもお子さんが自分で背負い管理する習慣づけをおねがいいたします。



# 変身する積み木

昨年の4月から保育園に通い始めたGくん。最初は積み木も上に積むだけ、並べるだけだった遊びが少しずつ形になり、駐車場や街を作るようになり…と変化していったのです。

最近では円柱や立方体など様々な形の積み木を上手く組み合わせて車を作れるようになりました。

そんなGくんが見せてくれた変身していく車をご紹介します！



これはハシゴ消防車。

ハシゴの部分はニューブロックで表現しています。

いろいろな形を上手に組み合わせていますね。

Gくん「つぎはトラックになる」



トラック  
完成！



こちらは別バージョンのトラック。

「後ろから荷物が取り出せるんだ～」と教えてくれました。

よく考えられている…Σ(・ω・ノ)ノ！

積み木遊びは形を認識する力や構成する力が身に付きます。文明の発展とともに様々な玩具が作られる中、積み木というものは昔から変わらず遊ばれてきました。それは積み木を通して育まれる力が大切だからだと思っています。Gくんは大好きな車という切り口から積み木遊びの展開がとっても上手になりました！

今後もGくんの作る積み木の世界が楽しみです(^▽^)/

# ぼくにもできた！

友だちが車の型抜きをしていたので「やってみよう！」と始めたのですが上手くいきません。「できないよー」と困っているEくん。

友だちや先生に「湿らせた土をいっぱい入れる」「ぎゅっぎゅと押し込む」とアドバイスもらって再挑戦です。



「やったー、  
かんせーい！！」



友だちと同じことがしたいとやり始めたものの上手く出来なくて困っていたEくん。友だちや先生に困っていることを伝えたことで友だちや先生からアドバイスをもらい素敵な型抜きが完成しました。

上手く行かなかったとき、困っている時に「困っているよ」と言えたEくん。今までは分からなくて諦めることも多かったのが大きな成長ですね。

友だちや先生にアドバイスはもらったものの自分の力で型抜きを完成させることができたことで達成感を感じることができました。これからもたくさんの「ぼくにもできたよ！」が増えていってほしいです。

# まねっこからはじまる

車や電車のおもちゃが好きな Yくん。ある日、うみ G の広いお部屋の中で、電車と車を並べていました。その時、おともだちが「いらっしゃいませー」とお店屋さんごっこをしている声が聞こえてきました。

いらっしゃいませー



いらっしゃいませー

Yくんも、まねっこして「いらっしゃいませー」と言って、  
**車と電車屋さんになりました。**



また別の日、車を走らせる道を保育士と一緒に作った次の日のことです。「今日も、道を作ってみたら？」と提案すると、前日にやった通りに一人で作り始めた Yくん。



ずれて重なったところは、  
保育士と一緒に直し、後は  
自分で、二階建てにして  
「せんせい、かんせーい」と  
笑顔の Yくんです。



Yくんが作ったものが面白そうと思ってやってきたおともだち

そのまた別の日には、**高速道路で大渋滞を自分で  
作ってみる姿がありました！** Yくんは**高速道路が  
好きです。好きなことを再現していました！**すてき！



まねっこをすることから、こうやって遊んだら面白いんだということを知っていく、学んでいく姿がありました。板のズレに気づいて、じゃあどうしようと考えたり、できた時の達成感を感じたり、そんな経験をしながら好きな遊びがどんどん深まっていくんだなと思います。

## “一緒にだから” 頑張れる “一緒にだから” やってみたい

4月から入園してきた3歳児のHちゃん。「礼拝ってなんだろう…?」「お昼寝の時はどうするの…?」毎日初めてのことがいっぱいです。

楽しいことが大好きなHちゃんは、保育室のいろんな玩具に興味を持ち、1人遊びの真っ盛り。

また、人懐っこいHちゃんは保育士のことも大好きで、「先生一緒に遊ぼう!」「先生一緒に寝よう!」

「先生一緒にトイレ行こう!」と、「先生一緒に〇〇しよう!」のオンパレード。

社会の中で、「先生」という親以外の大人の存在に気づき、信頼してくれることも一つの成長で嬉しく思っていました。



そんなある日、Hちゃんに大好きなお友だちができました。5歳児のTくんです。

Tくんは元々年下のお友だちのことをよく気にかけてくれる、お兄ちゃん的な存在です。

いつも「せんせい!!」と言っているHちゃんのことを気にかけてくれるようになり、とても優しく丁寧に接してくれるようになりました。

朝の集いの際、ひざに乗せてもらうことで自ら喜んで参加することができたり、リズム遊びの際、手を繋いでもらって楽しんで活動に参加することができたりと、“お兄ちゃんと一緒にいい”の気持ちから、“一緒にだから”頑張れる、“一緒にだから”やってみたい、そんな気持ちが芽生えてきたように感じます。

“一緒に”の気持ちは、こどもの心の成長に繋がります。

これからも、“一緒に”がたくさん増えていくといいなと願っています。